

図書館工事現場を見学



玄関先にはCLTも使用



巨大な鉄骨で耐震強化



外観のイメージ図



吹き抜けで開放感や明るさを取り入れます

市政トピックス TOPICS

10月28日、来年7月頃の開館に向けて改築工事が行われている真庭市立中央図書館の工事現場の見学会が開かれました。旧勝山振興局を約80%再利用しながら軽量化や補強をして耐震性能を向上させる「リファイニング建築」で生まれ変わる中央図書館。勝山町並み保存地区とつながり、誰もが気軽に思い思いの時間を過ごせる「広場のような図書館」を目指しています。参加者は担当職員から説明を聞いたり質問したりしながら、完成した姿を想像していました。

日本郵便(株)との協力等に関する協定締結式
安心して暮らせる地域づくりを

11月14日、市役所本庁舎で「真庭市と日本郵便株式会社との協力等に関する協定締結式」が行われました。協定を結んだのは市内への配達を担当する新見郵便局や真庭市内の郵便局などをつくる団体です。協定は、郵便物の配達時などに住民の見守りや道路の異常を連絡したり、災害時に避難所にいる市民まで郵便物を届けたりするなど市民の暮らしに貢献する内容で、さらに安心安全で暮らしやすい地域づくりを進めます。



締結式に参加した各郵便局長と市職員ら



石賀さんが生業としているアロマテラピーも体験

起業女子応援cafe
「起業の夢」応援します

10月25日、起業に関心がある女性が実際に起業している女性実業家に起業ストーリーや苦労話などを聞く「起業女子応援cafe」が、蒜山ハーブガーデンハービルで開かれました。一昨年に蒜山地域で起業した石賀真代さんが、2人の息子を育てながら奮闘していることについて話しながら質問がされ、和やかな雰囲気の中で、起業について理解を深めました。



市政に関する動きの一部を紹介します

10/24 総社市と職員交流の協定を締結

相互の行政運営の円滑化と職員の資質向上のため、平成30年4月から1年間、真庭市と総社市が職員を派遣し合う協定を締結しました。両市長は人材育成の大切さを確認し合い、協定書に署名しました。



11/19 地域に根ざした文化遺産の活用を考える

定古墳の発掘調査にも参加した同志社大学准教授の津村宏臣さんによる歴史郷育講座が北房文化センターで開かれました。津村准教授は「地域で何年後に何をを目指すかを最初に共有することが大切」などと話されました。



市長室から こんにちは!

「高校生議会」

11月12日に、一般社団法人真庭青年会議所が主催し、市議会が協力することで、市内高校の生徒が「市議会議員」になって質問する「高校生議会」が議場で開催されました。議員は、真庭高校落合校地、勝山高校、真庭高校久世校地、勝山高校蒜山校地の生徒で、議長も生徒2人が交代で務めて本会議を進行し、12名の議員が質問をしました。

落合図書館や白梅体育館の使用、グローバル人材の育成、Uターン政策、耕作放棄地、真庭の特産品、蒜山自転車道、蒜山の中等教育と、どれもが今の真庭にとって重要な課題で、私と三ツ教育長が答弁に立ちました。質問については、市議会議員がアドバイスしたとのことですが、よく調べており、発言も緊張しながらも堂々としたもので、私たちも本物の本会議同様に誠心誠意答弁しました。答弁内容はまじめに実行して参ります。

質疑の後、地域社会参画に関する決議が「全議員」の賛成で決議されました。「地域の未来のために私たちも主体的に発言・行動できるよう、学業に励み、地域社会に率先して参画していく事を誓います」との力強い意思表示で、将来の日本や真庭地域を担う者に頼もしさを感じました。真庭の若者よ、頑張れ!



担い手の確保などの課題について意見交換を行う出席者

**美甘地区森林づくり推進協議会
持続可能な森林経営を目指して**
11月15日、美甘地域をモデルに持続可能な地域森林経営のあり方を模索するため官民が連携する「美甘地区森林づくり推進協議会」が発足し、第1回の会議が開催されました。協議会は、市や森林組合、原木市場、素材生産業者など7団体で構成。今後は、美甘地域の市有林や民有林約5700haを活用し、施業地の集約化や木材搬出コスト削減のため路網整備を検討するなど、一体的な管理体制の確立を目指します。



真庭市の取り組みについて話を太田市長

**真庭市で開催
市長会で林政問題研究**
11月21日、全国市長会林政問題に関する研究会が真庭市で開かれ、20市から各市長をはじめとする参加者が集まりました。研究会の座長を務める太田市長が、地域資源である木材を生かした「循環する地域経済」など市内の取り組みを紹介したほか、林野庁から木材需要の創出についての話もあり、林業振興に必要な体制整備や鳥獣被害防止対策などの施策が盛り込まれた「森林・林業に関する提言」が承認されました。